

真
田

真田で楽しく！元気に！暮らしたい人のためのフリーペーパー

いきいき♪

活き活き ふるさと通信

第 49 号 2016年 7月 1日発行【真田地域に全戸配布】



5月8日 真田地区の運動会で活躍する皆さんです。



5月15日
つつじ祭りが行われ、三ツ頭獅子が華麗に舞いました。



真田町の社長さん 第22回

パティスリー

プランソレイユ 様の巻

今回は、パティスリー プランソレイユさんにお邪魔しました。

オーナーパティシエの尾澤健明さんが奥さんと2人で真田町唯一のケーキ屋さんを経営されています。以前は東京に住んでいましたが、長女さんが1歳（現在5歳）になられた事をきっかけにお店を出す事を前提に真田にある実家へ戻って来られ、真田町の活性化に貢献したいという熱い気持ちを胸に2015年8月8日に念願のオープンを迎える事が出来ました。“8”という数字は、野球の背番号が8を付ける事が多かったり、長女さんのお誕生日が8月8日であったりとオーナーさんの人生において深い関係があったそうです。



雲柄が好きなオーナーさん。看板や店内にも雲が浮かんでいます。小物はお店に立つ奥さんの雰囲気に合わせて全てオーナーさんが手掛けているそうです。中には、小さい頃から持っていたロボットも飾られている等オーナーさんの“好き”を全部詰め込んだ居心地の良い空間だそうです。

“プランソレイユ”とは、フランス語で“太陽がいっぱい”という意味です。（プランソレイユという映画が昔流行った事があり、映画を見たことのある方から話し掛けられる事もあるそうです。）お客さんがケーキを食べて笑顔（輝き）がたくさんあったら…という想いが込められています。

ケーキの種類は、生菓子20種類・焼菓子20種類がお店に並び、四季を大切にされているオーナーさんは定番菓子（ロールケーキ・ティラミス・プリン等）を全体の1/3、季節限定ケーキは全体の2/3を占めており、2~3カ月でケーキが入れ替わっていきますので、いつ来ても目新しい店内です。

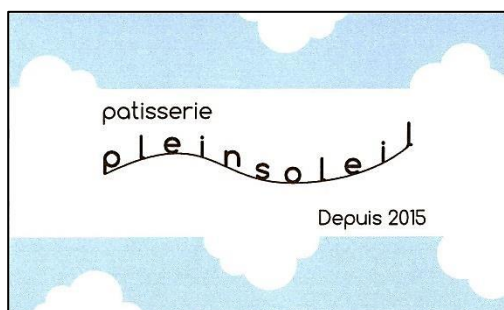
現在夏季限定で発売が決まっているケーキは“チョコミント”だそうです。昨年発売したところとても好評で、次回の発売を待っているお客さんもいらっしゃるそうです。夏ならではの水菓子も増やす予定との事。お菓子を“甘い物”で終わらせず、香りや食感・音など五感を使ってプラス



αのケーキを作りたいと想いがあり、ショーケース・店内の空間・庭・四季のトータルで考えていらっしゃいます。

お休みの日の過ごし方は、大好きなガーデニングをされているそうです。庭のお花はバラを基調とし15~20種類の植物が植えられており、ワイルド種のイチゴを始め、ラズベリーやタイム・ミント・ローズマリーといったハーブは、今後のケーキで活躍するかもしれません。今から楽しみです。

取材中、偶然常連のお客さんがいらしており、お話しを伺う事が出来ました。真田町在住の柳澤さんのおすすめケーキはクリスマスケーキ。本日はチョコバー（白）とシューラスクを購入されていました。



パティスリー プランソレイユ

住所：上田市真田町長 6092-1

TEL・FAX：0268-75-8038

営業時間：10時~18時

定休日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌火曜日）

不定休

ホームページ <http://www.patisserie-pleinsoleil.com/>

Facebook も始めています

ふれあいさなだ館近くに

サービス付き高齢者向け住宅 **アザレアンさなだ**

が10月中旬にオープンします。

定員15名（全15室）トイレ・洗面・エアコン・収納・ケアコール付き
ヘルパーステーションが併設しますので、介護が必要な方でも安心！
アザレアンさなだの各種サービスを利用できます。

お問い合わせは

開設準備室 **0268-72-2781**

担当者 福澤まで



真田地域包括支援センターだより

平成28年7月



<職員紹介>

新しい職員を紹介します。よろしくお願いいたします。

主任介護支援専門員：中山佑子（写真）

権利擁護事業（上田市委託事業）

特殊詐欺被害防止研修会 参加者募集

～ 被害を防ぐのはあなた！！ ～

高齢者を狙った特殊詐欺被害が後を絶たない中、昨年、上田警察署管内では48件と県下最多の被害を認知しました。本年5月12日現在の被害は、オレオレ詐欺や架空請求などで14件、約2,823万円の被害額となっています。被害者の多くは60代から80代の高齢者です。

昨年被害にあった方の内、特殊詐欺について「知っていた」方は94%にのぼります。また、74%の方が「自分は騙されない」と考えていたようです。上田市内でもさまざまな方法で、特殊詐欺への注意喚起を行っているところですが、被害は続いています。

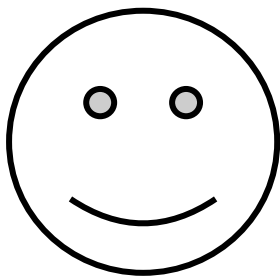
そこで、真田地域包括支援センターでは、高齢者に接する機会の多い介護保険事業者や民生児童委員、福祉推進委員、福祉委員、地域で見守り活動をしているみなさまなどを対象に、特殊詐欺の手口や対処方法等を知っていただく特殊詐欺被害防止研修会を開催し、見守りや声かけなどに活用していただきたいと企画いたしました。

多くの方の御参加をお待ちしています。

7月20日（水）

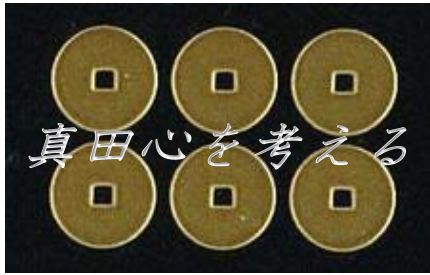
13時30分～15時

開催！！



- ◎ 講師 長野県東信消費生活支援センター職員
- ◎ 会場 上田市真田総合福祉センター
（上田市真田町長7190）
- ◎ 申込締切 平成28年7月13日（水）
※資料配付等の関係上、お申し込みをお願いいたします。
- ◎ 申込先及び問合せ先 真田地域包括支援センター
電話：72-8055
FAX：71-5740

真田地域包括支援センターTEL 72-8055 有線 2080(真田総合福祉センター内)



第21回 真田三代の活躍

常田 軍三

九 第四回 川中島合戦の幕引き

「鞭声肅々夜河を渡る 暁に見る千兵の大牙を擁するを 遺恨なり十年 一剣を磨き 流星
光底長蛇を逸す」

という漢詩は、^{らいさんよう}頼山陽が残した第四回川中島合戦を詠んだものです。難しい内容の詩ですが、
これほど人口に知れ渡った詩もまた珍しいことです。人の口の端にのぼり、歌に舞踊にと流行
しました。

それはそれとして、第四回の川中島合戦は、世紀の大決戦ともいわれ、武田・上杉両軍とも
に大きな損害を蒙^{こうむ}りました。

さて、両者の戦闘は、永禄四年九月十日午前六時（卯の刻）に蔽^{おお}っていた霧が晴れると同時
に始まり、九時間にわたって、激烈な戦いが行われました。武田軍では、信玄の弟の典厩^{てんきゅう}信繁
や軍氏の山本勘助の両将を失うという痛手を負った。

「なに、典厩が討ち死にしたというのか」

信玄は絶句して、天を仰いだ。敗色濃い情報をもって、次々に使い番が駆け込んでくる。武
田典厩は、名は信玄の実弟である。あの兄思いの典厩が討ち死にしたとは、信玄には信じられ
なかった。

武田典厩、名は信繁という。物の本によれば、「信繁は幼い頃から文武の道に長じ、兄思い
の立派な武士で、真の武田の副将は信繁であるといわれた」とある。聡明な武将であったとい
う。いずれにしても、典厩信繁と山本勘助の死は武田軍の敗色濃厚を意味した。

しかし、戦いの勝利の帰趨^{きすう}は終わってみなければわからないもの。武田軍は巳の刻（午前十
時）から妻女山からの先鋒隊が加わり、形勢が逆転、上杉軍が崩れ始めました。大将謙信は僅
かな供回りをつれ、犀川の北にのがれた。上杉勢は、雑兵とも三千百が討ち取られたという。
こうして、川中島の合戦は収束を告げ、謙信は信濃から撤退したのでした。

発行元：「真田 生き生きふるさと通信」広報委員会 事務局：高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ内
〒386-2201 上田市真田町長 7141-1 有線 2111
TEL 0268-72-2781 FAX 0268-61-4010 E-mail keijinfukushi@azarean.jp

イベント情報や、通信を読まれてのご意見、ご感想をお寄せください。